2026 年 11 月 10 日

一般社団法人日本損害保険協会　中国・四国支部

広島市中区防災フェアで子どもたちと地域安全マップを作成

～「ぼうさい探検隊」を通じて地域の危険箇所を確認～

日本損害保険協会中国・四国支部(委員長：藤中 麻里子・損害保険ジャパン株式会社 執行役員)では、11 月 8 日(日)に広島市立広瀬小学校で開催された「中区防災フェア」にブースを出展し、子どもたちや保護者とともに地域安全マップを作成しました。

当支部のブースでは、来場者とともに地図を見ながら、小学校への通学路にある危険箇所などを確認し、地域安全マップを作成しました。マップ作りに参加した子どもたちからは、「ここは坂道になっていて、自転車が急に飛び出してくる」「川の水があふれていたら、高いところへ逃げるんだよ」といった声が聞かれ、子ども同士や子どもと保護者で地域の危険箇所について話し合う姿が見られました。また、保護者が子どもの行動範囲の広がりに気付くなど、子どもと保護者で身近な地域の安全について考える機会にもなりました。

このほか、保護者をはじめとする来場者に対して、小学生向けの安全教育プログラム「ぼうさい探検隊(※)」を紹介するとともに、チラシを用いて地震保険や火災保険の水災補償に関する情報提供を行いました。

当支部は、今後も「ぼうさい探検隊」をはじめとする防災教育・リスク教育プログラムの普及を通じて、関係団体と連携しながら、地域の防災力向上に取り組んでまいります。

※ぼうさい探検隊とは

子どもたちが楽しみながらまちにある防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめ発表する、実践的な安全教育プログラム。2004 年度から「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」を開催し、今回で 23 回目。自治体や行政等への提言により実際に危険箇所が改善された事例もあり、地域安全力向上の一助になっている。

https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/reduction/bousai/index.html



マップ作りの様子①



マップ作りの様子②



会場の様子